

## チームワークなら、

実業団都市対抗選手権 優勝  
トヨタ自動車



## 愛知!

クラブ対抗選手権 優勝  
カニエクラブ



- 2面 第51回 全日本クラブ対抗選手権大会
- 3面 第40回全日本実業団都市対抗選手権大会
- 4~6面 第38回全日本年齢別選手権大会
- 7~8面 第54回全日本大学個人選手権大会



全日本クラブ対抗選手権と、全日本実業団都市対抗選手権。どちらも気心の知れた仲間と一緒に挑む、チームワークが最重要の大会です。今年は、愛知県のチームが両大会を制しました。都市対抗では40回の歴史の中で12度、クラブ対抗ではここ10年間で6度の優勝を占めている愛知県勢に、チーム戦の秘訣が息づいているのを感じます。

# KING OF BOWLING

### 文部科学大臣杯 第60回 全日本ボウリング選手権大会 〈スポーツ振興基金助成事業〉

2023年3月18日(土)~21日(火・祝)

- 主催** 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援** スポーツ庁  
公益財団法人 日本スポーツ協会  
公益財団法人 日本オリンピック委員会  
愛知県  
公益財団法人 愛知県スポーツ協会  
稲沢市  
稲沢市教育委員会  
稲沢市スポーツ協会
- 協力** 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管** 愛知県ボウリング連盟

**GUINNESS WORLD RECORDS**

世界最大のボウリング場  
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)  
ギネス世界記録認定を受けた「世界最大のボウリング場」で、リニューアルされた「フロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1  
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133

[www.grandbowl.jp/inazawa](http://www.grandbowl.jp/inazawa)





# 第51回全日本クラブ対抗選手権大会

## 劇的大接戦制す

### カニエクラブ(愛知)

第51回全日本クラブ対抗選手権大会が1月20日(金)から22日(日)にかけて、兵庫・神戸六甲ボウル(公認No.128・045)で開催された。

コロナ禍前の規模に迫る76チームが一挙集結して、優勝争いは最終ゲーム・最終フレームにもつれ込む大接戦に。カニエクラブ(愛知)が6ピン差で制し、初優勝をつかんだ。

競技

予選は2つの組に分かれて行われた。各グループの上位6チームは決勝進出が確定する。7位以下のチームは組に関係なくスコア順に並べて上位から6チームが決勝に進むことになる。

A組は回戦にベーカー方式で行った。大田クラブB(東京)が1735でトップに立ち、桑名クラブ(三重)も1700台に乗せた。レギュラー方式での2回戦でも、桑名クラブは3168の好スコアをマークして逆転。そして3回戦では3305のスコアで打ち上げてトップ通過を決めた。

B組の1回戦はレギュラー方式。地元兵庫の灘クラブは3861と驚異のスコアメイクを見せ、2位の青森中央学院大学(学連)も3521をたたき出した。

式。地元兵庫の灘クラブは3861と驚異のスコアメイクを見せ、2位の青森中央学院大学(学連)も3521をたたき出した。

続いてベーカー方式の2回戦も、灘クラブと青森中央学院大学はプラスの1600台をマークして順位は変わらず。再度レギュラー方式での3回戦、灘クラブは3114にまとめて青森中央学院大学の追い上げをしのいだ。

そこへ大田クラブBが、4ゲーム目から266・279・245とたたみかけて逆転成功。さらに予選から好調の灘クラブは、7ゲーム目から257・231・238と猛追を見た。カニエクラブAと大田クラブBは2109の同点、灘クラブは21ピン差という混戦になっていた。

残るは2ゲーム。1ゲーム目、大田クラブBは246、灘クラブも233で勝利した。これでトップは大田クラブBに替わり、灘クラブが34ピン差、カニエクラブAは41ピン差で追うかたちとなった。

しかし最終ゲームで大田クラブBはプラスに乗せられず、灘クラブは200Pも勝利ポイントを獲得できなかった。カニエクラブAは209で勝利すると、再逆転に成功。6ピン差で薄氷の優勝となった。



### パーフェクト

3選手が達成

第51回全日本クラブ対抗選手権大会において、3名の選手がパーフェクトゲームを達成した。

- ▽大会第36号 菅野沙織選手 (神奈川県・スポーツ横須賀クラブ)
- ▽大会第37号 佐古健太郎選手 (東京都・港クラブA)
- ▽大会第38号 西川仁大選手 (愛知・カニエクラブA)



<b>菅野沙織</b>	スポーツ横須賀クラブ 神奈川県 34歳
使用ホール	PRO-am Prime Time(15p)
公認ドライバー	黒川 靖 (公認No. 0285-14)
<b>佐古健太郎</b>	港クラブ 東京都 26歳
使用ホール	Marvel (Maxx) Black(15p2oz)
公認ドライバー	佐取 賢 (公認No. 1366-11)
<b>西川仁大</b>	カニエクラブ 愛知県 39歳
使用ホール	Physix M(15p)
公認ドライバー	青木彰彦 (公認No. 0114-22)

好スタートを切ったのはカニエクラブA(愛知)セミパーフェクトの279で快勝すると、4ゲーム目にも268をマークして4連勝を決めた。

個人HSの越川拓磨(京都・船井クラブA)



### 第51回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会 成績表

2023年1月20日(金)~22日(日)  
会場: 兵庫・神戸六甲ボウル  
参加: 76チーム 395名

決勝ラウンドロビン(ベーカー方式) 11G	
優勝	カニエクラブA(愛知) 大笹川 裕仁 豊原 理人 清水 武 2,563
準優勝	大田クラブB(東京) 森野 文栄 小原 央士 佐久間 裕二 2,557
第3位	灘三クラブ(兵庫) 石田 万音 浅川 啓大 小島 将矢 2,545
第4位	立川スターレーン(東京) 熊沢 颯 熊沢 絆 宮崎 義弘 2,519
第5位	水前寺クラブ(熊本) 小原 隆彦 中川 龍成 前田 一樹 2,480
第6位	和歌山グランドボウル(和歌山) 安里 紗希 川口 尚美 川口 菜紀 2,464
レギュラー方式チームハイゲーム	青森中央学院大学(学生連合) 石岡 大空 須藤 真海 金濱 亮汰 1,269
レギュラー方式チームハイシリーズ	灘三クラブ(兵庫) 石田 万音 浅川 啓大 小島 将矢 3,661
ベーカー方式チームハイゲーム	船井クラブB(京都) 坂本 真貴子 平重 三吉 片岡 達也 287
個人ハイゲーム	菅野沙織(神奈川) スポーツ横須賀クラブ 300
個人ハイゲーム	佐古健太郎(東京) 港クラブA 300
個人ハイゲーム	西川仁大(愛知) カニエクラブA 300
個人ハイシリーズ	越川拓磨(京都) 船井クラブA 791

### ガイド

JBC会員選手が集うクラブチームが、5人チーム戦で最強の座を競う大会。予選の内容はベーカー方式(8ゲーム)とレギュラー方式(18ゲーム)の2種類で行われ、各チームのスコア順に順位を決定した。

式(5人×3ゲーム×2回戦)で、各大会は各グループに分かれて競技を行った。各組上位6チームと、6位以下のスコア上位6チーム、合計18チームが決勝戦に進出。決勝はベーカー方式で、各ゲームのスコアと勝利チームに付与される20ピンのボーナスポイントの合計を競う。18チームが2グループに分かれてラウンドロビン(総当たり戦)9ゲームを行い、ラストは各グループの同順位チームによるポジションマッチ2ゲームで順位を決定した。





# ラスト2ゲームで圧倒

## トヨタ自動車(愛知・豊田市)



予選は3つの組に分かれて行われた。各組の上位6チームは予選突破となり、さらに全組の7位以下チームの中でスコア上位2チームも決勝に進むことができる。A組は1回戦でエナジックインターナショナル(沖縄・北谷町)がトップに立ち、2回戦では2位につけていた北陸電力(富山・富山市)が逆転と大接戦。翌日の3回戦では、エナジックインターナショナルが2762の高スコアをマークして1位通過を決めた。

B組1回戦はハイスコアの感謝に、ユニプレス(静岡・富士市)が2841(大会チームハイシリズ)をたたき出すと、久世ペローズ工業所(石川・津幡町)も29ピン差で続いた。2回戦ではトヨタ自動車A(愛知・豊田市)が2位に浮上してきたが、ユニプレスは4マーク差で首位をキープ。そして3回戦、2位以下は順位が入れ替わる混戦の一方で、ユニプレスは安定のスコアメイク。終わっ

第40回全日本実業団都市対抗選手権大会が1月27日(金)から29日(日)にかけて、京都・MKボウル上賀茂(公競No.126・005)で開催された。トヨタ自動車(愛知・豊田市)が決勝最終盤でビッグスコアを残して他を圧倒。8年ぶりとなる大会制覇を遂げた。

# 第40回全日本実業団都市対抗選手権大会

てみれば300ピン超のリードで1位通過となった。

C組では、今大会注目のJFE西日本A(広島・福山市)が登場。この大会に勝てば年間グランドスラムというチャンスに、実力どおりの首位発進を決めた。2回戦でも危なげなくスコアをまとめると、2位トランステックス(石川・白山市)との差は200ピン近くまで広がった。そして3回戦では2763のビッグシリーズを決めて、余裕の決勝進出となった。

決勝戦はベーカー方式のラウンドロビンで、ゲームスコアはもちろぬ勝利ポイント(20ピン加算)が大きなカギとなる。序盤勢いを見せたのはエナジックインターナショナル。2ゲーム目に235、4ゲーム目に246をマークし、5ゲーム目ですべて200UPで5連勝を決めた。トヨタ自動車Aも3・4ゲーム目で255・246と打ち上げた。前半戦を終えてエナジックインターナショナルが1213、30ピン差でトヨタ自動車Aと続いていた。JFE西日本Aはビッグゲームを打てず上位との差が徐々に開いていった。後半、トヨタ自動車Aは2度の200UPに加え、ローゲームを

195に留める安定ぶり。9ゲーム目にエナジックインターナショナルを逆転した。

残るはポジションマッチ2ゲーム。トヨタ自動車Aとエナジックインターナショナルは直接対決することになり、逆転には2連勝が欲しいエナジックインターナショナルを相手に、トヨタ自動車Aは1ゲーム目、4人で連続ストライクを決めて247をたたき出した。リードは一気に131ピンまで広がり、勢いもついたトヨタ自動車Aはラストゲームも244で快勝。年間グランドスラムを達成した2015年以来、8年ぶりとなる都市対抗選手権制覇を果たした。



実業団ボウリングの全国タイトルは年間3大会。そのラストを飾るのが実業団都市対抗選手権大会で、4人チーム戦で優勝を争う。

予選は3つの組に分かれて、4人×3ゲームを3回戦行った。各組のスコア上位6チームと、全組の7位以下のチームでスコアが上位の2チームが決勝に進出となる。

決勝戦は予選のスコアを持ち越さず、ベーカー方式で競技する。決勝進出チームは2組にわかれて、1ゲームずつ総当たり戦(ラウンドロビン)を行った後、各組の同じ順位

のチームがポジションマッチ2ゲームを行う。各ゲームのスコアと勝利チームに付与されるボーナスポイント(20点)の総合計をスコアとして優勝および順位を決定する。

実業団の年間3大会を全制覇する「グランドスラム」を、過去に2社が達成している。今年度、JFE西日本(広島)が実業団産業別と実業団選手権を制してグランドスラムに挑戦したが、達成とはならなかった。今大会を制したトヨタ自動車(愛知)は、第32回大会での前回優勝時に、2014年度のグランドスラムを達成している。

### ガイド

### 優勝チームに副賞

今大会の優勝チームには、副賞としてギフトカードが贈呈された。また、抽選賞として、京都の味覚詰め合わせセットがプレゼントされた。



**パーフェクト 300**

**3選手が達成**

第40回全日本実業団都市対抗選手権大会において、3選手がパーフェクトゲームを達成した。

▽大会第21号 渡邊元造選手 (石川・北陸電力石川支店)

▽大会第22号 村上太一選手(静岡・ユニプレス)

▽大会第23号 福田嘉光選手 (広島・JFE西日本A)

それぞれ協会主催大会公認第522524号パーフェクトゲームとして認定された。

3選手には会場のMKボウル上賀茂の記念品が贈呈された。

<b>渡邊元造</b>	北陸電力石川支店 石川県 56歳
使用ボール	Proton PhysiX(15p3oz)
公認ドライバー	堀越直人 (公認No. 1894-16)
<b>村上太一</b>	ユニプレス 静岡県 21歳
使用ボール	Dark Code(16p)
公認ドライバー	伊牟田英次 (公認No. 1978-21)
<b>福田嘉光</b>	JFE西日本 広島県 39歳
使用ボール	Bite SE(15p1oz)
公認ドライバー	中内明弘 (公認No. 0127-33)

## 第40回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会 成績表

参加：36都市 55チーム 234名  
2023年1月27日(金)～29日(日)  
会場：京都・MKボウル上賀茂

《4人チーム戦(決勝ベーカー方式)》			
優勝	トヨタ自動車A (愛知・豊田市)	松岡富綱・高平沙也斗 阿部広知・鈴木貴光	2,636(180)
準優勝	久世ペローズ工業所 (石川・津幡町)	河合昭彦・松浦 弘 脇坂裕貴・田中智之	2,498(160)
第3位	エナジックインターナショナル (沖縄・北谷町)	荻堂純子・下地一秀 石嶺可奈子・幸喜将太	2,487(140)
第4位	ケーパル (青森・八戸市)	工藤陽一郎・工藤純一郎 久保利治・古川一司	2,433(110)
第5位	日本精工 藤沢 (神奈川・藤沢市)	中川和紀・畑 秀明 石川夕真・小西昌平・小林 猛	2,399(120)
第6位	金沢市役所 A (石川・金沢市)	白木 武・清水正弘 奥村一世・中倉啓太・羽場恵美	2,389(120)
レギュラー方式チームハイゲーム	ユニプレス (静岡・富士市)	深澤智秀・遠藤金龍 村上太一・深澤一敏	989
ベーカー方式チームハイゲーム	日本精工 藤沢 (神奈川・藤沢市)	中川和紀・畑 秀明 石川夕真・小西昌平・小林 猛	279
チームハイシリーズ	ユニプレス (静岡・富士市)	深澤智秀・遠藤金龍 村上太一・深澤一敏	2,841
個人ハイゲーム	渡邊元造	北陸電力石川支店(石川・金沢市)	300
個人ハイゲーム	村上太一	ユニプレス(静岡・富士市)	300
個人ハイゲーム	福田嘉光	JFE西日本A(広島・福山市)	300
個人ハイシリーズ	村上太一	ユニプレス(静岡・富士市)	821



オーバーオールチャンピオン決定戦で優勝した長田陽介(三重)



**パーフェクト 300**

石川夕真	パーフェクト
神奈川県	20歳
使用ボール	Obsession Tour Pearl(15p)
公認ドライバー	平塚久雄 (公認No. 0876-14)

第38回全日本年齢別選手権大会において、石川夕真選手(神奈川)が大会最年少となるパーフェクトゲームを達成。協会主催大会で第5号として認定された。石川選手には会場のキャスボール福山より記念品が贈呈された。

19歳以下の部HGも石川夕真(神奈川)

各世代ハイゲーム



20歳代の部 立花和貴(学連) 30歳代の部 梅木孝宏(埼玉)



40歳代の部 中塩貴倫(広島) 50歳代の部 増田一義(千葉)



60歳代の部 山中徹治(東京) 70歳以上の部 矢野辰善(熊本)

# JBC会長杯 第38回全日本年齢別選手権大会

## オーバーオール チャンピオン決定戦

優勝を決めたばかりの7名のチャンピオンが、さらに最強王者を決めるための決戦に挑んだ。たった1ゲームの勝負は本戦以上のスライククラッシュに。

19歳以下を制した中学生・山口直矢(京都)は前半に2つのダブルを決めた。20歳代の齋藤祐太(神奈川)と70歳以上の岩井親孝(富山)はターキー。30歳代の庄瀬智大(三重)は前半大苦戦。紅一点の50歳代・門田裕美(広島)はダブルで食い下がった。

60歳代の前田知一(石川)が2フレーム目から4連続ストライク。それを追うように40歳代の長田陽介(三重)は3フレーム目からストライクをつなげて5連続とした。

前田は7・8フレーム目にもダブルを決めたが、直後の9フレーム目でまさかのスベア失敗。これで有利な状況となった長田は、9フレーム目からダブルを決めて自力で勝利を引き寄せた。優勝した長田には、記念のトロフィーピンと最新鋭ゲーム機がプレゼントされた。

**NO.1 20s**

**齋藤祐太** (神奈川)

20歳代の部	神奈川県	27歳
使用ボール	Top Speed(15p2oz)	
公認ドライバー	芦川和義 (公認No. 1779-14)	

**NO.1 over70**

**岩井親孝** (富山)

70歳以上の部	富山県	78歳
使用ボール	Ghost Lock(15p1oz)	
公認ドライバー	山本 浩 (公認No. 0724-18)	

**NO.1 50s**

**門田裕美** (広島)

50歳代の部	広島県	56歳
使用ボール	Burner Hybrid(15p1oz)	
公認ドライバー	塩出哲也 (公認No. 1510-34)	

JBC会長杯第38回全日本年齢別選手権大会が2月10日(金)から12日(日)にかけて、広島・キャスボール福山(公認No.134・019)にて開催された。530名の選手が7部門に分かれて、同年代の選手と腕を競った。

20歳代の部で齋藤祐太(神奈川)、50歳代の部で門田裕美(広島)が同部門2度目の優勝を果たした。山口直矢(19歳以下・京都)、庄瀬智大(30歳代・三重)、前田知一(60歳代・石川)、岩井親孝(70歳以上・富山)は、それぞれ初優勝を挙げた。

7名の優勝者によるオーバーオールチャンピオン決定戦では、40歳代優勝の長田が頂点に立った。

**競技**

**50歳代の部**

黒川陽一(三重)が予選1回戦で7-0の好スタートを切った。2回戦は中川晶子(熊本)が4-0をマークして2位順位を上げたが、黒川はのシリムをのりこぎで2位に押し上げた。

3回戦も黒川は3-0で、1位のまま予選を突破した。6-0を打った門田裕美(広島)が黒川と15ヒビ差の3位で決勝へ。

1ゲーム目、プラスに乗せられなかった黒川を門田が救った。門田は2ゲーム目、3ヒビを打ち、2ヒビの差を縮めた。そして最後は3-4のビッグゲームを決めた門田が、4年ぶりに部門の頂点に返り咲いた。

50歳代の部・準優勝の黒川陽一(三重)

**NO.1 40s**

**長田陽介** (三重)

40歳代の部	三重県	43歳
使用ボール	Proton Physix(15p2oz)	
公認ドライバー	岩切稔純 (公認No. 1003-22)	

**NO.1 30s**

**庄瀬智大** (三重)

30歳代の部	三重県	32歳
使用ボール	Infinite Physix(15p3oz)	
公認ドライバー	伊藤暢浩 (公認No. 0242-23)	

**20歳代の部**

齋藤祐太(神奈川)が7-0で首位をキープした。2位の内藤慎之介(静岡)は13ヒビ差というハイレベルな接戦模様。2回戦も齋藤は7-0で再トップ。内藤は6-4を打ちながらも5-11のリードをつけられてしまった。

3回戦も0-0にまでたどった齋藤は1ヒビ通過を決めたが、7ヒビを打った中村祐康(学連)が2ヒビ差まで迫り、再び接戦となつて決勝戦に入った。

中村は1ゲーム目の6-8で遊戯に成功。初めて首位を明け渡した齋藤だったが、2ゲーム目には8-0を打って再遊戯。そのままトップを守り抜いて、6年ぶりの同部門制覇を果たした。

**40歳代の部**

中塩貴倫(広島)が8-0で首位をキープした。2位の長田陽介(三重)は7-0で首位を守り、3ヒビに迫った長田陽介(三重)が6-1で打った。最終1ヒビは、長田の2-2をのりこぎで、長田の2-2に押し上げた。30歳代優勝の黒川陽一(三重)は、長田の2-2に押し上げた。

**30歳代の部**

1回戦は、ただ入りのUPLした庄瀬智大(三重)を山根伸郎(岡山)と石川か14ヒビ差、長田の優勝となった。

2回戦は庄瀬が梅木ももとの3ヒビ差は動かさず、大差をつけられた。

3回戦は庄瀬が梅木ももとの3ヒビ差は動かさず、大差をつけられた。

50歳代の部・第3位の 中川晶子(熊本)

50歳代の部・第4位の 早川美加(愛知)

50歳代の部・第5位の 東孝行(広島)

50歳代の部・第6位の 増田一義(千葉)

70歳以上の部・準優勝の 大丸谷智子(石川)

70歳以上の部・第3位の 藤山篤美(長崎)

70歳以上の部・第4位の 小嶋景子(福岡)

70歳以上の部・第5位の 戸田征宏(兵庫)

70歳以上の部・第6位の 細川礼子(徳島)

20歳代の部・準優勝の 中村祐康(学生連合)

20歳代の部・第3位の 内藤慎之介(京都)

20歳代の部・第4位の 高木裕太(三重)

20歳代の部・第5位の 石本美来(広島)

20歳代の部・第6位の 伊東将成(三重)

**70歳以上の部**

1回戦は高橋三(神奈川)の6-1をトップに4人が8-0で乗せた。2位につけていた鶴景子(福岡)は2回戦で6-5を決めて首位を奪った。岩井親孝(富山)は6-8を打って2位に浮上した。3回戦も小嶋1位、岩井2位は変わらず、しかしその差はわずか13ヒビで、3位の大丸谷智子(石川)も岩井とのヒビ差という接戦模様で決勝戦に突入した。

まず1ゲーム目、岩井は5-7とリードを奪って3ヒビ差まで追いついて、しかしゲーム目起死回生の4-6で再トップ。大丸谷は14ヒビ差で迎えた最終1ヒビは、岩井が1-5で大丸谷は1-8、わずか3ヒビ差で、岩井の優勝が決まった。

20歳代の部・第3位の 門田裕美(広島)

30歳代の部・第3位の 梅木孝宏(埼玉)

30歳代の部・第4位の 細川淳平(徳島)

30歳代の部・第5位の 川田正二(神奈川)

30歳代の部・第6位の 菅野沙織(神奈川)

40歳代の部・準優勝の 鶴見亮剛(神奈川)

40歳代の部・第3位の 中塩貴倫(広島)

40歳代の部・第4位の 庭月野恵(大阪)

40歳代の部・第5位の 中川真史(熊本)

40歳代の部・第6位の 島本昭宏(滋賀)

30歳代の部・準優勝の 澤村裕也(福岡)

30歳代の部・第3位の 梅木孝宏(埼玉)

30歳代の部・第4位の 細川淳平(徳島)

30歳代の部・第5位の 川田正二(神奈川)

30歳代の部・第6位の 菅野沙織(神奈川)



# JBC会長杯 第38回全日本年齢別選手権大会



## 前田知一 (石川)

前田知一	60歳代の部
使用ホール	Conspiracy Pearl(15p)
公認ドライバー	前田知一 (公認No. 0230-19)



## 山口直矢 (京都)

山口直矢	19歳以下の部
使用ホール	Purple Pearl Urethane Hammer(15p3oz)
公認ドライバー	藤井大輔 (公認No. 1718-26)

### 60歳代の部

吉田由美子(埼玉)が723、吉本隆夫(熊本)が718とし、1回戦は2名が抜け出すかたちとなった。吉田は2回戦も5000にまで上り、トップを守ったが、661を打った坂本政武(徳島)が5ピン差に迫る接戦に。

3回戦、前田知一(石川)が651をマークして逆転した。坂本は2



60歳代の部・準優勝の後藤光司(埼玉)



60歳代の部・第3位の坂本政武(徳島)



60歳代の部・第4位の吉田由美子(埼玉)



60歳代の部・第5位の梅田久徳(三重)

### 19歳以下の部

1回戦は愛甲雅治(宮崎)の720を筆頭に3名が700UPした。2回戦では岩元美咲希(学連)が71と大きく打ち上げて、22位から一気にトップを奪った。

岩元は3回戦も700とし1位通過を決めたが、このシリーズ742を打った山口直矢(京都)が32ピン



60歳代の部・第6位の服部良成(長崎)



19歳以下の部・準優勝の岩元美咲希(学連)

### 副賞&抽選賞を贈呈

今大会の各部門優勝者には、すき焼きギフトカードが副賞として贈呈された。また抽選賞として7名にもみじ饅頭がプレゼントされた。

## JBC会長杯 第38回全日本年齢別ボウリング選手権大会 成績表

2023年2月10日(金)~12日(日)

会場: キャッスルボウル福山

参加: 532名

<p>《19歳以下の部》 12G 133名</p> <p>優勝 山口直矢 (京都) 2,793</p> <p>準優勝 岩元美咲希 (学生連合) 2,715</p> <p>第3位 石川夕真 (神奈川) 2,646</p> <p>第4位 濱崎りりあ (神奈川) 2,634</p> <p>第5位 長尾脩甫 (福岡) 2,607</p> <p>第6位 石本恵梨奈 (学生連合) 2,580</p> <p>ハイゲーム 石川夕真 (神奈川) 300</p>	<p>《20歳代の部》 12G 70名</p> <p>優勝 斎藤祐太 (神奈川) 2,830</p> <p>準優勝 中村祐麻 (学生連合) 2,808</p> <p>第3位 内藤慎之介 (京都) 2,770</p> <p>第4位 高木裕太 (三重) 2,755</p> <p>第5位 石本美来 (広島) 2,730</p> <p>第6位 伊東将成 (三重) 2,706</p> <p>ハイゲーム 立花和貴 (学生連合) 290</p>
<p>《30歳代の部》 12G 43名</p> <p>優勝 庄瀬智大 (三重) 2,626</p> <p>準優勝 澤村裕也 (福岡) 2,519</p> <p>第3位 梅木孝宏 (埼玉) 2,517</p> <p>第4位 細川淳平 (徳島) 2,516</p> <p>第5位 川田正二 (神奈川) 2,512</p> <p>第6位 菅野沙織 (神奈川) 2,490</p> <p>ハイゲーム 梅木孝宏 (埼玉) 279</p>	<p>《40歳代の部》 12G 62名</p> <p>優勝 長田陽介 (三重) 2,602</p> <p>準優勝 鶴見亮剛 (神奈川) 2,588</p> <p>第3位 中塩貴倫 (広島) 2,563</p> <p>第4位 庭月野恵 (大阪) 2,560</p> <p>第5位 中川貴史 (熊本) 2,551</p> <p>第6位 島本昭宏 (滋賀) 2,549</p> <p>ハイゲーム 中塩貴倫 (広島) 299</p>
<p>《50歳代の部》 12G 71名</p> <p>優勝 門田裕美 (広島) 2,648</p> <p>準優勝 黒川陽一 (三重) 2,568</p> <p>第3位 中川晶子 (熊本) 2,548</p> <p>第4位 早川美加 (愛知) 2,525</p> <p>第5位 東孝行 (広島) 2,440</p> <p>第6位 増田一義 (千葉) 2,439</p> <p>ハイゲーム 増田一義 (千葉) 277</p>	<p>《60歳代の部》 12G 91名</p> <p>優勝 前田知一 (石川) 2,564</p> <p>準優勝 後藤光司 (埼玉) 2,541</p> <p>第3位 坂本政武 (徳島) 2,526</p> <p>第4位 吉田由美子 (埼玉) 2,510</p> <p>第5位 梅田久徳 (三重) 2,505</p> <p>第6位 服部良成 (長崎) 2,489</p> <p>ハイゲーム 山中徹治 (東京) 268</p>
<p>《70歳以上の部》 12G 62名</p> <p>優勝 岩井親孝 (富山) 2,378</p> <p>準優勝 大丸谷智子 (石川) 2,371</p> <p>第3位 藤山篤美 (長崎) 2,344</p> <p>第4位 小鶴景子 (福岡) 2,341</p> <p>第5位 戸田征宏 (兵庫) 2,314</p> <p>第6位 細川礼子 (徳島) 2,280</p> <p>ハイゲーム 矢野辰善 (熊本) 267</p>	<p>《オーバーオールチャンピオン決定戦》</p> <p>優勝 長田陽介 (三重) 248</p> <p>準優勝 山口直矢 (京都) 238</p> <p>第3位 前田知一 (石川) 226</p> <p>第4位 岩井親孝 (富山) 212</p> <p>第5位 庄瀬智大 (三重) 208</p> <p>第6位 斎藤祐太 (神奈川) 201</p> <p>第7位 門田裕美 (広島) 192</p>



19歳以下の部・第3位の石川夕真(神奈川)



19歳以下の部・第4位の濱崎りりあ(神奈川)



19歳以下の部・第5位の長尾脩甫(福岡)



19歳以下の部・第6位の石本恵梨奈(学連)

### ガイド

全日本年齢別選手権は、10歳ごと7つの部門に分かれて行う個人戦。競技は予選9ゲーム、決勝3ゲームを行い、トータルスコアで順位を決定する。

男女混合戦のため、女子には1ゲーム15ピンのハンディキャップが付与される。また70歳以上の部では75歳超の選手に5ピンのハンディキャップが加算される。

今大会では、7つの部門を制したチャンピオンたちが1ゲームマッチで戦う「オーバーオールチャンピオン決定戦」を初めて開催した。年齢性別に関わらずハンディキャップも設けず勝負し、40歳代を制した長田陽介がチャンピオンに輝いた。



# 第54回全日本大学個人選手権大会



女子の部・優勝の  
戸塚真由 (同志社大学)



女子の部・準優勝の  
伊勢川華愛 (和歌山大学)



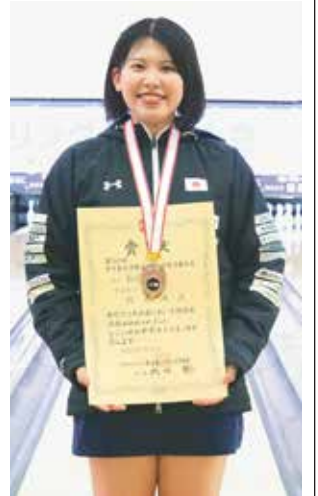
女子の部・第3位の  
安田明香里 (京都産業大学)



女子の部・第4位の  
岩元美咲希 (名古屋産業大学)



女子の部・第5位の  
渡辺莉央 (上武大学)



女子の部・第6位の  
鈴木波流 (常葉大学)



男子の部・優勝の  
斉藤翔 (同志社大学)



男子の部・準優勝の  
中里隆和 (沖縄国際大学)



男子の部・第3位の  
田口智博 (京都産業大学)



男子の部・第4位の  
吉原正明 (青森中央学院大学)



男子の部・第5位の  
石岡大空 (青森中央学院大学)



男子の部・第6位の  
久富木広 (志学館大学)

## 第54回全日本大学個人ボウリング選手権大会 成績表

男子 150名  
女子 29名 合計 179名

2023年2月20日(月)~22日(水)  
京都・キョーイチボウル宇治

《男子の部 (21G)》		初優勝
優勝	斉藤 翔 (学生連合・同志社大学)	4,666
準優勝	中里 隆和 (学生連合・沖縄国際大学)	4,649
第3位	田口 智博 (学生連合・京都産業大学)	4,538
第4位	吉原 正明 (学生連合・青森中央学院大学)	4,505
第5位	石岡 大空 (学生連合・青森中央学院大学)	4,490
第6位	久富木 広 (鹿児島県・志学館大学)	4,462
ハイゲーム	寺尾 隼 (学生連合・岡山大学)	290
ハイシリーズ	中里 隆和 (学生連合・沖縄国際大学)	753
《女子の部 (21G)》		初優勝
優勝	戸塚 真由 (学生連合・同志社大学)	4,631
準優勝	伊勢川 華愛 (和歌山県・和歌山大学)	4,445
第3位	安田 明香里 (学生連合・京都産業大学)	4,435
第4位	岩元 美咲希 (学生連合・名古屋産業大学)	4,348
第5位	渡辺 莉央 (群馬県連・上武大学)	4,319
第6位	鈴木 波流 (静岡県連・常葉大学)	4,259
ハイゲーム	戸塚 真由 (学生連合・同志社大学)	299
ハイシリーズ	戸塚 真由 (学生連合・同志社大学)	783

男子優勝	20歳
斉藤 翔	同志社大学
使用ボール	Venom Shock(15o1oz)
公認ドライバー	佐渡島 悟 (公認No. B0241-22)
女子優勝	21歳
戸塚 真由	同志社大学
使用ボール	IQ Tour Ruby(15p)
公認ドライバー	吉田文啓 (公認No. B0556-22)

### ハイゲーム&ハイシリーズ



女子HG・HSの  
戸塚真由 (同志社大学)



男子HGの  
寺尾隼 (岡山大学)



男子HSの  
中里隆和 (沖縄国際大学)

大学生の個人日本人を  
決める全日本大学個人選  
手権大会。予選は3ゲー  
ム×4回戦を行い、男子  
36名・女子18名が通過す  
る。準決勝(3ゲーム×



2回戦)の上位男子24名  
・女子12名が決勝(3ゲ  
ム)に進み、21ゲーム  
の合計スコアで優勝を争  
う。

今大会では斉藤翔選手  
(同志社大学)が連覇を  
達成。過去の大会では、  
牧野優美選手(日本女子  
大学/第9~11回大会)  
と石本美来選手(岡山商  
科大学/第47~49回大  
会)が達成した3連覇の  
記録がある。

また、同じ大学の選手  
による同時優勝は、今回  
を含めて7回達成されて  
いる。

SPORTS ENTERTAINMENT ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING JAPAN 2023

ラウンドワングランドチャンピオンシップボウリング

アマチュアでも賞金獲得のチャンスがある! 賞金総額 3,000万円!!

主催: JPBFA JBC 特別協賛: ROUND1 JBC予選会開催中 http://www.jbc-bowling.or.jp/gcb2023/



# ROUND 1 グラチャン INFORMATION

## 大会公式Twitter開設しました

大会を主催するJPBA（日本プロボウリング協会）、NBF（日本ボウラーズ連盟）とJBCが、大会公式Twitterアカウントで大会情報を発信中です。フォローして最新ニュースを受け取ってください。



### 【JBC予選会開催予定】

- ▷4月14日(金) 三重(ラウンドワンスタジアムみえ・川越IC店) 4/3受付終了
- ▷4月15日(土) 栃木(ラウンドワンスタジアム宇都宮店) 4/3受付終了
- ▷4月15日(土) 福岡(ラウンドワンスタジアム博多・半道橋店) 4/3受付終了
- ▷4月22日(土) 青森(ラウンドワン青森店) 4/10受付終了
- ▷5月24日(水) 香川(ラウンドワンスタジアム高松店) 3/24受付開始

- ▷5月26日(金) 沖縄(ラウンドワン沖縄・南風原店) 3/27受付開始
- ▷5月27日(土) 北海道(ラウンドワンスタジアム札幌・白石本通店) 3/27受付開始
- ▷5月31日(水) 神奈川(ラウンドワンスタジアム川崎大師店) 3/31受付開始
- ▷6月7日(水) 愛知(ラウンドワンスタジアム中川1号線店) 4/7受付開始
- ▷6月7日(水) 岡山(ラウンドワンスタジアム岡山妹尾店) 4/7受付開始



## 受付中です!

●JBC公認ドリラー資格更新手続き  
JBC公認ドリラー資格の更新申請を受付中です。個人単位で手続きされる方は、オンラインフォーム (<https://moshicom.com/80669>) にてお手続きください。

ボウリング場やプロショップ等、複数名まとめてお手続きをご希望の場合は、メール ([driller@jbc-bowling.or.jp](mailto:driller@jbc-bowling.or.jp)) にて氏名と登録番号をご連絡ください。

### ●JBC公認ドリラー有資格者研修会 (義務研修会・オンライン)

JBC公認ドリラー有資格者のための、最新情報を提供する研修会です。今回はオンライン形式で、昨年10月に開催した義務研修会の講義ビデオを視聴し、レポートを提出していただく形式です。

参加費 3000円  
Web申込システム(e-moshicom)のフォーム <https://moshicom.com/81398> で申込を受付中です。(お申込みにはe-moshicomへの無料会員登録が必要です)  
受付期間 3月22日(水)まで

### 2022年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	競技会		リーグ
		公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	21	100	7
	青森	31	73	
	岩手	22	62	
	宮城	28	107	
東北地区	秋田	7	14	
	山形	7	14	
	福島	22	6	
	茨城	17		
関東地区	栃木	13	32	
	群馬	20	104	10
	埼玉	40	111	5
	千葉	24	124	8
	東京	27	69	16
	神奈川	30	60	29
	山梨	15	30	
	長野	13	35	
	新潟	15	74	1
	富山	21	120	2
北信越地区	石川	20	64	4
	福井	9	4	
東海地区	岐阜	46	114	13
	愛知	49		
	三重	34	104	
	滋賀	20	49	
関西地区	京都	27	123	1
	大阪	48	130	8
	兵庫	31	45	25
	奈良	21	58	
中国地区	和歌山	15		
	鳥取	14	29	
	徳島	13	18	3
	岡山	9	74	
四国地区	香川	14	18	6
	愛媛	13	30	24
	高松	21	40	1
九州・沖縄地区	福岡	6	12	
	佐賀	2	11	
	熊本	40	89	67
	鹿児島	8	6	10
全日本学生連合	福井	29	57	37
	長崎	25	38	60
	熊本	9	9	4
	鹿児島	21	60	13
計	鹿屋	24	90	
	沖縄	26	42	13
全日本学生連合	13	5	3	
総計		1,005	2,430	370

### イベントカレンダー

3月&4月

- ▽3月4日(土)~5日(日) 全日本選手権大会 愛知・稲沢
- ▽3月11日(土)~12日(日) 第4回理事会 愛知・稲沢
- ▽3月18日(土)~21日(火) 文部科学大臣杯第60回全日本選手権大会 愛知・稲沢
- ▽3月21日(火)~22日(水) 全日本(ユース)ナショナルチームメンバー選考会 愛知・稲沢
- ▽4月28日(金)~5月2日(火) 全日本ナショナルチームメンバー強化合宿 群馬・ドリムスタジアム太田

賛助会員・特別法人・個人会員紹介  
<2023年2月10日以降登録者>  
【特別個人会員】  
▷東京都 吉田宗近、佐藤一雄 <敬称略>

# 同志社大学がアベックV



## 斉藤翔&戸塚真由

男子は2つの組に分かれて予選を行った。前回覇者の斉藤翔(同志社大学)はA組で登場すると、1回戦は710、2回戦も720と好発進。中里隆和(沖縄国際大学)に75ピン差をつけた。B組では2回戦を終えて橋内誠吾(法政大学)の6ゲーム1322がトップ。全体3位につけた。

### 男子の部

第54回全日本大学個人選手権大会が2月20日(月)から22日(水)にかけて、京都・キョーイチポウル宇治(公競No.126・063)で開催された。男子は斉藤翔(同志社大学)がデッドヒートの末に連覇を達成。女子は戸塚真由(同志社大学)が2位に大差をつけて初優勝。同志社大学勢による男女同時制覇となった。

男子は2つの組に分かれて予選を行った。前回覇者の斉藤翔(同志社大学)はA組で登場すると、1回戦は710、2回戦も720と好発進。中里隆和(沖縄国際大学)に75ピン差をつけた。B組では2回戦を終えて橋内誠吾(法政大学)の6ゲーム1322がトップ。全体3位につけた。

3・4回戦はB組が先に投球。ルーキーの吉原正明(青森中央学院大学)が3回戦で709を打ちトップを奪った。4回戦は624とスコアが伸び切らなかつた吉原だが、B組首位は守って予選を終えた。A組の3回戦、斉藤が628に留まった一方で、中里が289を含む685を打ち、2人の差は8ピンまで縮まった。続く4回戦は斉藤が677、中里は669と差はつか

ないまま、ここまで19ゲームで斉藤は2735、中里は2719までスコアを伸ばし、3位の吉原は2591。2人が抜け出すかたちで準決勝に突入した。前半、斉藤は603とスコアを伸ばせず、中里は654をマークして逆転に成功した。続く後半も中里は663の好スコア。しかしここで斉藤は再び716と大台に乗せて、トップを奪い返した。残るは決勝の3ゲーム。わずか18ピンを差う中里は、1ゲーム目の220で4ピン差まで詰めてきた。するとゲーム目は斉藤が214、中里は203。15ピン差となって迎えた最終ゲームは、先にダブルを作った斉藤がリードを大事に守って逃げ切り、連覇

を果した。2年前の覇者・安田明香里(京都産業大学)が1回戦で727と好発進した。2位の岩本美咲希(名古屋産業大学)は30ピン差で、3位以下も接戦模様。2回戦では11位につけていた戸塚真由(同志社大学)が299を含む783を打ち安田を逆転。3マーカーのリードを作った。3回戦では渡辺莉央(上武大学)が712と2位に順位を上げたが、戸塚は639にまとめてトップをキープした。予選最後の4回戦は安田が再び渡辺を抜いて2位につけたが、647と安定の戸塚は107ピンまでリードを広

げた結果となった。そして準決勝で明香里が大きく分かれることに、まずは前半、戸塚がこの3ゲームも626にまとめた一方で、安田と渡辺はプラスに乗せることができなかった。この時点で167ピン差をつけた戸塚は、後半に266を含む727。伊勢川華愛(和歌山大学)が705とし5位から2位に浮上するも、269ピンの大差で戸塚は独走態勢を築いた。

### 女子の部

決勝戦も戸塚は635にまとめて、そのまま優勝。7つのシリーズはすべて600を上回り、ハイゲームとハイシリーズも獲得してビッグスコアを残す力も存分に示した完勝だった。

を果した。2年前の覇者・安田明香里(京都産業大学)が1回戦で727と好発進した。2位の岩本美咲希(名古屋産業大学)は30ピン差で、3位以下も接戦模様。2回戦では11位につけていた戸塚真由(同志社大学)が299を含む783を打ち安田を逆転。3マーカーのリードを作った。3回戦では渡辺莉央(上武大学)が712と2位に順位を上げたが、戸塚は639にまとめてトップをキープした。予選最後の4回戦は安田が再び渡辺を抜いて2位につけたが、647と安定の戸塚は107ピンまでリードを広

# 第54回全日本大学個人選手権大会

スポーツくじ

toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

新登場!

大会ライブ配信専門チャンネル

YouTube

「JBC ボウリング Live」

Let's access! JBCのSNS

Twitter Instagram YouTube 試合速報FB Facebook